

「デジタルジャパン」の原案等の策定に関する意見

1. 個人 / 団体の別: 個人
2. 氏名 / 団体名: 非公開
3. 連絡先: 非公開
4. ご意見:

とあるメーカーで官公庁向けシステムを提案・構築していた立場から意見を差し上げたいと思います。

官公庁のITによる効率化を妨げている要素は次の三点と思います。

- ・予算の縦割りによる全体調和に対する意識不足
- ・既得権益・既得労働に対する固執と新事業や新体制に伴う組織改変への抵抗
- ・人事異動の頻発による責任感の無さと逆に業者依存の体質

システムを開発して常々疑問に思っていたことがほとんど変わらないシステムを少し他の団体と違うというだけで完全に新規開発してしまう体質です。

一般企業でもERPなど導入する際はFit & Gapを行い、どのように現状とマッチさせていくか検討しますが、その会社の強みとなる個性ではない限り相対的な重みが無いとみなされて、そのADDON開発(カスタマイズ)は実施されません。

費用対効果ではなく予算で考えてしまうからしょうがないとは思いますが同じようなシステムを全国津々浦々に作っているのでは無駄が多すぎます。

そこで私が考える電子政府にあるべき姿は

- ・災害時に稼動する必要性が無い業務は県レベルでシステムを構築し、市町村はSaaSを利用して使用料のみ支払う。重要業務でもシステムは県から市町村に提供し、市町村はハードウェアだけ準備する。
- ・IT効率化に伴う余分人員の再配置と再教育を計画に入れる。特にデータ分析・解析などの高等労働への転換が求められるのではないのでしょうか。
- ・ITアーキテクトやITコンサルタントなどを要する専門CIO部隊を創出し、システムの提案はそこで費用対効果を検討し、その実施結果に及ぶまで責任を持たせる。但し業者や会計課などとの癒着を防ぐため出来るだけ既存組織とは人事も予算も体制も独立した機関が望ましい。

現在でもこういう組織はあると思いますが外部に委託では責任感が出ないですし、強制的なチェック権限を持っていないと有名無力になってしまいます。

以上